



## 「蒲郡地域の茶の間の会」

会長 石川たづ子

「地球温暖化って言葉、知ってる？」

「茶の間の会」手作りの大型紙芝居の出前公演先で、少し難しいかな？と思いつつ、保育園の園児たちに問いかけてみました。予想に反して、「ハイ！！！」

大勢の園児たちの手が勢いよく上がり、「地球温暖化」に対する漠然とした不安が、子ども達の意識の中にもジワジワ広がっていることを実感させられました。



「蒲郡地域の茶の間の会」は2004年11月に発足しました。

活動の基本スタンスである「協働のまちづくり」の中でも、「環境保全」は重要なテーマです。

「蒲郡がやっぱり好き！」と思う仲間が集い、出来る事からひとつひとつ、やってきました。2005年の記録的な大雪の日に決行した「キャンドルナイト」を始め、「エコマネー・がま」への取り組み、「茶の間フェスタ」「海辺のフェスタ」開催等、一貫して蒲郡の自然環境に関心を持ち、保全する方法を探ってきました。

一昨年から環境課、清掃課と協働で取り組んでいる、「ごみ減量推進啓発」のための大型紙芝居とビデオ制作もその一つです。

誰もが出来る、ゴミを減らすための方法を、私達は出来る限り「解りやすく、楽しく、押し付けがましくない」内容にしようと考えました。

昨年完成した大型紙芝居「ききみみずきんで紙の声を聞いて」は、作画を始め、読み、型枠、BGMとして流れるイメージソング「今あなたから」に到るまで、総て会員の手作りです。

DVD、ビデオ、CDなども作り、環境課により市内の保育園、児童館、公民館などに配布され、さらに市のホームページからも見るようになってきました。

又、冒頭でも書きましたように、依頼にお応えして出前公演も行っています。

出前公演先で、一番強く感じたのは、雑紙が資源だという事実が殆ど知られていないことでした。

私達市民団体と行政がさらに協働し、もっともっとキメ細かく、根気良く、工夫した広報活動を継続していかなければ、浸透しないのだと思います。



今年1月、ごみ減量啓発ビデオ「混ぜればゴミ、分ければ資源 我家のごみ減量作戦」が、一年余りの時間と思いを込め、ようやく完成しました。

いずれ、ゴミ処理にかかる費用を、市民が個々に負担しなければならなくなるとしても、今少しでも私たちが出来る方法があることを知っていただきたいとの思いで作りました。

避けては通れない「ゴミ問題」に関心を持ち、本気で取り組まなければゴミは減りません。

ビデオやDVD、紙芝居などの、いわば「ハード」の部分だけでなく、粘り強く、地道で魅力ある広報活動を続けるというような、「ソフト」の部分をもっと大切にしていきたいのです。ただちに、「保育園、児童館、公民館、関係団体に配布し、見てもらう」事だけでは一過性のものに終わってしまうと思うのです。

残念ながらこの部分では、まだまだ行政との協働の難しさを感じます。

「自由な発想を持ち、軽やかなフットワークで、何よりも蒲郡を愛するボランティア精神を持つ」市民団体と、協働を図る柔軟な姿勢を持っていただきたいと思います。

財政難にあえぐ自治体であればこそ、マンネリを打破し、市民の心から沸きあがるホットなマンパワーに、本音で向き合っていたきたいと切に願います。

このページは12月2日の交流ゲームでの優勝賞品として贈呈したページです。

